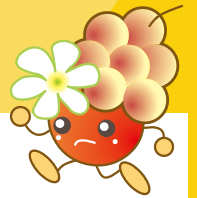


防災特集

Part 1

防災特集は
8面に
つづきます

災害はいつ起こるかわかりません。いざという時に落ち着いて行動するためには、日頃からの備えが大切です。
避難方法や備蓄品の確認、災害用トイレの準備など、今できる備えを紹介します。自分と家族を守る準備を始めましょう。



地震発生時の避難方法

あわてず、落ち着いて、身の安全を最優先に行動しましょう

1 地震発生 まずは身の安全を確保



- 1 姿勢を低くする
- 2 頭を守る
- 3 揺れが収まるまで待つ

- POINT!**
- ✓ あわてて外に飛び出さない
 - ✓ 窓や落下物から離れる
 - ✓ 火を使っているときは、揺れが収まってから火の始末をする

2 安全・安否確認

1 家族の安否確認



二人とも大丈夫か!?

3 地震後の家の安全確認



2 地震の情報確認



- POINT!**
- ✓ 家具の転倒や落下はないか
 - ✓ 割れた食器やガラスはないか
 - ✓ ドアや窓は開閉できるか
- 避難するときは
- ✓ 電気のブレーカーを切る
 - ✓ ガスの元栓を閉める
- OFF**

3 一時避難場所へ避難する(集合場所)

一時避難場所



災害時に一時的に避難する安全な場所です



無事です

皆さんの無事を確認しています

- POINT!**
- ✓ 隣近所に声をかけ合い、徒歩で避難(車は使わない)
 - ✓ 狭い道は使わず、できるだけ広い道路で避難する
 - ✓ 一時避難場所で安否確認をする(安否確認カードなどの提出)

4 避難所などへの避難

自宅で過ごすことができる方は

在宅避難



自宅が安全な場合は在宅避難をしましょう

在宅避難について▶8面

自宅で過ごすことができない方は

災害時避難所へ避難



災害時避難所



水害時の避難方法

大雨や台風による水害は、事前の備えと早めの避難が命を守ります

避難方法を確認しましょう

親せき・知人宅への避難

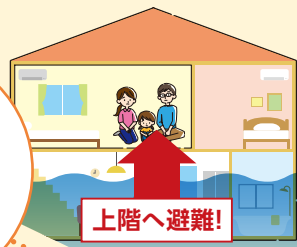
安全な場所にある親せきや知人などの家に避難



在宅避難(垂直避難)

外への移動が危険な場合は、自宅の2階または3階以上へ避難

在宅避難について▶8面



自分と家族の命を守るために、早めの行動をとしましょう

上階へ避難!

指定避難所への避難

市町村が指定した避難所または水害時避難ビルなどへ避難



事前の備えを整えましょう

側溝の掃除

側溝にごみや落ち葉などが詰まっていると、内水氾濫の危険が高まります。



災害用トイレの準備

いざという時のために、備えて安心!トイレの備えは命と健康を守ります。



災害用トイレの使用方法について▶8面

食料・水の準備

非常持ち出し品を備え、すぐに持ち出しできる準備をしておきましょう。



災害時の食料備蓄

もしもの時に備え、最低3日分(できれば1週間分)を準備しましょう